

平成 29 年度 事業計画書

1. 奨学金の支給

(1) 継続奨学生及び新規採用奨学生

支給対象者			人数	一人当たりの 月額支給奨学金	年間支給総額
継続奨学生	大学院	修士 2 年	11 名	60,000 円	7,920,000 円
	大 学	学部 4 年	6 名	30,000 円	2,160,000 円
		学部 3 年	5 名	30,000 円	1,800,000 円
	高等専門学校	本科 5 年	6 名	20,000 円	1,440,000 円
		本科 4 年	5 名	20,000 円	1,200,000 円
新規採用奨学生※	大学院	修士 1 年	15 名	60,000 円	7,200,000 円
	大 学	学部 2 年	7 名	30,000 円	1,680,000 円
	高等専門学校	本科 3 年	7 名	20,000 円	1,120,000 円
計			62 名		24,520,000 円

※ 1. 新規採用奨学生は 8 月度分より支給開始。

※ 2. 新規募集者の専攻分野・学科は以下のとおりとする。

① 大学院生・大学生

有機化学、有機合成、高分子化学、高分子合成、無機化学、光化学、触媒化学、計算化学、液晶、界面化学、物理化学、生物化学、材料化学、分析化学、画像化学、化学工学、機械工学、電気電子工学、電子デバイス、情報工学などの化学系専攻

② 高等専門学校生

すべての学科

※ 3. 応募資格として、以下の二つの条件を付するものとする。

① 生計を一にする家族の年間収入(祖父母の年金収入は除く)が 500 万円以下

② 成績証明書記載の学業成績に占める、A・優以上の最優等成績の割合が 50%以上

(2) 新規採用奨学生募集校

① 大学院及び大学は以下の 40 校とする。

青山学院大学、大阪大学、大阪市立大学、大阪府立大学、神奈川大学、金沢大学、関西大学、関西学院大学、熊本大学、九州工業大学、九州大学、京都工芸繊維大学、京都大学、近畿大学、群馬大学、慶應義塾大学、高知大学、神戸大学、国際基督教大学、埼玉大学、首都大学東京、上智大学、信州大学、千葉大学、中央大学、筑波大学、東京工業大学、東京大学、東京農工大学、東京理科大学、東北大学、同志社大学、名古屋工業大学、名古屋大学、広島大学、北海道大学、山形大学、横浜国立大学、立命館大学、早稲田大学

②高等専門学校は以下の40校とする。

秋田工業高等専門学校、旭川工業高等専門学校、有明高等専門学校、石川工業高等専門学校、一関工業高等専門学校、茨城工業高等専門学校、宇部工業高等専門学校、大阪府立工業高等専門学校、大島商船高等専門学校、沖縄工業高等専門学校、小山工業高等専門学校、鹿児島工業高等専門学校、金沢工業高等専門学校、木更津工業高等専門学校、北九州工業高等専門学校、熊本工業高等専門学校、久留米工業高等専門学校、呉工業高等専門学校、群馬工業高等専門学校、高知工業高等専門学校、神戸市立工業高等専門学校、佐世保工業高等専門学校、サレジオ工業高等専門学校、鈴鹿工業高等専門学校、仙台高等専門学校、津山工業高等専門学校、鶴岡工業高等専門学校、東京工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校、富山高等専門学校、長岡工業高等専門学校、奈良工業高等専門学校、新居浜工業高等専門学校、沼津工業高等専門学校、函館工業高等専門学校、八戸工業高等専門学校、福井工業高等専門学校、都城工業高等専門学校、和歌山工業高等専門学校

2. 奨学生証授与式及び奨学生交流会

新規採用奨学生を対象に、奨学生証授与式及び奨学生交流会を実施する。

新規採用奨学生には、学会出席を含む研究活動、学校行事などの事由がない限り、奨学生証授与式及び奨学生交流会への出席を求めるものとする。

また、先輩として新規採用奨学生を激励して頂くことなどを目的に、前年度以前採用の現奨学生33名を奨学生交流会に招聘する。

奨学生証授与式及び奨学生交流会出席に要する往復交通費(居所・帰省先から会場)は全額支給する。

実施日	対象者数	予算額	予算の内容
平成29年8月28日(月)	62名	2,000,000円	出席者の往復交通費、傷害保険料、交流会飲食費等

以上